

給食に関するアンケート 自由意見

9. その他(給食・給食費で大切なと思うこと)

【給食で大切なと思うこと】

- ・ 美味しい事
- ・ こどもがたくさん食べてくれること
- ・ 豊富なメニューがあること/いろいろな料理を知ること
- ・ 安心・安全な食材や調理方法であること/異物混入がないこと
- ・ バランス良く栄養を取り、大人になった時に健康な身体が保てるようにすること
- ・ 身体が成長しているこの時期に、無化学農薬・無化学肥料の食物を取り入れること
- ・ 国産のものを食べる事
- ・ 平等にみんなで美味しく食べられること/仲間と共に食べる経験をする事
- ・ 楽しい雰囲気ですること(黙食ではないこと)
- ・ ゆっくり時間をかけて食べられること
- ・ アレルギーがあってもクラスメイトと同じ給食を食べられること
- ・ マナーを学ぶこと
- ・ 「食育」として、きちんと「命のいただき方」を学べる事
- ・ 農家や調理師さん、栄養士さんに感謝すること
- ・ こどもの健康状態や個別的なニーズに合わせた提供がなされること

【給食に関する意見】

- ・ ご飯の量に対して、おかずの量が少ない(特に高学年)
- ・ 成長に見合っていない量、お腹が空いて満足できない
- ・ 「美味しい」と思える質と量は変えないでほしい
- ・ 給食の時間が短く、時間がなくて食べられない(女子生徒) 汁物で流し込んでいる
- ・ おかわりを平等に配ってほしい
- ・ 好き嫌いは仕方ないと思うので、最初から減らして食べられる人が食べる等、残飯が出ないようにすべき/こどもたちが残さないような献立にしてほしい
- ・ 家で食べない野菜でも、給食なら美味しく食べられるとのこと
- ・ 牛乳は必要ない/飲まない選択肢があるとよい
- ・ 小麦や加工食品が多い
- ・ 有機栽培の米や野菜を提供してほしい

【給食費で大切だと思うこと】

- ・子育て世代の意見を聞くこと
- ・不公平にならないこと/親の収入によって差が生じないようにすること
- ・ひとり親家庭の収入からでも捻出できる金額であること

【給食費に関する意見】

●「有料でよい、有料でも仕方がない」理由

- ・給食は児童全員の栄養摂取において大事な役割をしているため
- ・食事は大人もこどもも生活の基本になるものである。給食を今後も安心安全に提供いただくため、そして保護者としての自覚と責任のためにも、費用を負担することは必要だと思う
- ・生活が苦しいため市民全体で負担することはありがたいが、間違っていると感じる
- ・物価等に連動して給食費を上げるべき。現状だと生産者、または質や量で調整せざるを得ない。給食制度維持の為に各家庭の費用負担増はあるべき姿であると思う。これ以上の地域格差を避けてほしい

●「無料がよい、低額がよい」理由

- ・大田原市の未来を担うこどもたちのために投資してほしい
- ・住んでいる地域によって給食費が違った対応になることに違和感があるため。無料の自治体もあるのに大田原市が有料なのは不公平に感じる
- ・少子化のため、こどもの食事ぐらいは無料、もしくは少額の費用にて賄ってほしい
- ・子育て世代の支援としては無料又は低額負担も良い

●その他

- ・決められた予算の中で献立や栄養面の調整をして調理をする方に感謝し、それをこどもたちに伝える事が大切
- ・娘は少食だが給食が足りない。親が費用を負担してもこどもが満足できないことに疑問
- ・こどもが昨年の4月以降毎日の様に給食がおいしくないと言っているため、給食費を出している意味をあまり感じない
- ・前年度無償だった時に比べ、今年度は給食がおいしくなったと言っている
- ・一部の人を免除に、とするよりは、免除の総額を想定して一律で値下げにした方が良い。生活が苦しいのは限られた一部の人ではなく、多くの家庭に当てはまると思う
- ・2、3月の無償化はありがたいが、小学生と中学生の給食費は異なるので、公平に支給、徴収してほしい

12. 食育の一環として、お子さんが自分の弁当を作って学校に持参する「お弁当の日」を検討しています。このことについてどのように考えますか

●主な賛成の理由…食育、こどもが喜ぶ、生きていくうえで必要

- ・こどもが生きていく上で大切なスキルを身に付けられる/自炊できるようになると、こどもの自立に繋がる/衛生面の勉強になる
- ・弁当作りの大変さなどの感想を共有でき、会話が弾む/今しかできないこどもとの時間を大切にし、コミュニケーションを増やしたい
- ・友達同士お弁当を見せあう事により、食について興味を持つ事ができる
- ・やってみたいという気持ち、考え作る楽しさや大変さ、工夫などが良い経験になる
- ・楽しみの一つや気分転換になる/質や栄養には偏りは出るが、好きなおかずを楽しく食べられる日があっても良いと思う
- ・運動会などお昼をまたぐ行事も減ったため、友達と食べる日があってもよい
- ・偏食のため、お弁当なら完食できて自信につながると思う
- ・子も保護者も給食のありがたみを知ることができる/ありがたみを知ることによって残飯が減る
- ・お弁当の日があることにより、給食の量、質が向上されるなら、お弁当の日があっても良い

●主な反対の理由…時間がない、親の負担になる、内容で比較されてしまう、こどもが作るのは無理、管理が心配 (高学年なら、冬場なら良い等の意見多数) (給食費の設問の流れにより、給食費を減らすためにお弁当を持参すると捉えた回答者が多数)

- ・保護者の負担が増える(保護者が作ることになる、材料確保、調理補助、見守り、家計への負担など)/保護者の気持ちに余裕がなくイライラし、嫌な時間にしてしまいそう
- ・給食のメリットを重視している(衛生、保温、栄養など)
- ・障害や貧困などへの対応が必要であり、担任や教員によるフォローが困難である
- ・こどもの時間がない(勉強、部活、宿題、睡眠時間)/勉強に影響が出る
- ・学校の授業の一環を家庭で取り組みたくない
- ・遠足や校外学習、家庭でのお出かけ等の経験で十分/お弁当は特別な日の楽しみがよい
- ・休日に家で作っているため、必要ない
- ・継続できない事業なら価値を感じない

●どちらでもいい…賛成意見と反対意見両方あり。作ることは賛成だが…

・子どもたちが嫌な気持ちになることは避けたい。各家庭諸事情等に配慮があれば実施しても良いと思う。

- ・お弁当でなくても、楽しくおいしく感謝を持てるような食育活動をすべき
- ・保護者がどこまで関与し、手を出すべきなのか分からず、不安
- ・こどもはやりたいと言うが親が大変
- ・保護者はいいいと思うがこどもは嫌がっている
- ・本人の意思を尊重するならどちらでもいい
- ・給食費が減るなら良い

●実施にあたっての意見

- ・具体的な概要や意義を教えてほしい
- ・作ってきた物にみんなの前でコメントする等、教員や児童生徒の意識も指導してほしい
- ・月1、2回がよい/年に1、2回がよい
- ・一気に3日など連続したほうが家計への負担が少ないのではないか
- ・金曜日がいい（次の日が休みだと心にゆとり）/月曜日がいい（準備の時間を取りたい）
- ・市内全域一斉ではなく、事前に数校ピックアップして実施しサンプルを取るのはいかがでしょうか
- ・実施するなら給食費は減額してほしい
- ・登校時間を遅くしてみるのはいかがでしょうか
- ・高学年なら良い
- ・事前に家庭科で練習すると良い
- ・低学年から簡単な調理実習を取り入れるのはいかがでしょうか
- ・発達段階に合わせて手伝ったり作ったりするとよい/低学年はお弁当を詰める、中学年はおにぎりを握る、高学年はおかずを1品1人で作るなど、年齢を考慮して決めると家庭の負担が少なくなるのでは
- ・おにぎりのみはどうか(簡単/おかずは給食にすると差が出ない/主食の日/粗食の日/自分でお米を研いで炊いてみるのも食育になる)
- ・温かいスープやみそ汁は出してほしい
- ・冷凍食品はどうか決めたほうが良い/冷凍食品はダメ、ウインナーなどの加工肉はダメ、などのルールが出てくるのならば少し面倒に感じる
- ・作る人の寝坊や体調不良などもあるため、絶対手作りのものではなく、柔軟に対応できるようにしてほしい/救済処置(希望者には有料の弁当など)が必要
- ・忘れる児童生徒がいても、空腹で過ごすことがないようにしてほしい
- ・こどもが朝コンビニに寄ってから学校へ行くことにならないようにしてほしい
- ・腐敗・食中毒が心配のため、実施時期やお弁当の保管場所を考慮したほうがよい
- ・外で食べると、花見をしながら、虫の音を聞きながらと季節を楽しめる

●弁当以外の食育方法意見(反対、どちらでもいい より)

- ・家庭科の時間を増やすといい/調理実習を増やすなど、家庭科の授業で力を入れるのはどうか/家庭科の時間でお弁当を作り、給食の時間に食べるのはどうか/授業参観や学校行事の時に親子でお弁当を作る授業(家庭科や道徳)の中に組み込むのはどうか
- ・親子で作る機会を増やすのなら、長期休みやGWに、季節の料理などを作ってレポート提出する課題を設けるのはどうか/土日含む1週間の間にお弁当を作って食べる等課題(写真付き)にして提出するのはどうか
- ・食材を作る手間暇を学ぶ機会が必要(例えば学校での畑栽培、田植えや稲刈り体験など)
- ・学校での食育は、地元の様々な食材の農家さんとの交流や農家さんから食材の選び方や調理法を学ぶ授業など、個人では難しいような活動をしてほしい

●その他

- ・小、中学生の期間のからだ作りや、栄養摂取、給食という時間はとても大切だと思う。物価高騰で市も家庭もそれぞれ苦しいが、家庭環境の別なく、こどもの身体が第一優先の市であってほしい。大田原市はこども環境が充実していないと感じている。食は守ってほしい
- ・給食費軽減のため週に数回は白飯のみ持参などを検討しても良いかと思う
- ・長期休暇の学童のお弁当も当日注文できる仕組みがあれば助かる
- ・給食は好きだが不登校のため、給食費の負担が大きい。月に数回しか食べない子の措置も考えてほしい。給食を食べに行く日はあらかじめ前の月に決めて学校にお伝えして登校しているため、その分だけお支払いではだめなのか
- ・原則保護者は給食費を自己負担すべきであるが、負担軽減や子育て支援の観点から、市や国でも一部負担があれば、市のイメージアップ、(子育てしやすい街づくりなど)や評価につながるのではないか